



8月の予定

にじ組さんが植えた「スイカ」「メロン」がすくすく育っています。カラス対策として、子どもたちが黒ビニールで作ったカラスを吊り下げたのですが残念ながら、つかれてしまいました。保護者の皆様からアイデアを募集し、前保護者会長の村中さん

から「蚊帳」をいただきました。本来虫よけに使われるのですが、カラス除けにも大変効果を発揮していますね。最近見なくなった蚊帳ですが日本では江戸時代に普及したといわれ、昭和後期まで多く使われていました。網戸、空調設備、殺虫剤等生活環境の変化で、現在ではほとんど使われなくなりましたが、電気も薬品も使わずエコロジーだとして最近特に見直されているそうです。

日本では使われなくなった蚊帳も、網戸やエアコンが普及しきっていない国では、まだまだ重宝されます。アフリカ等では蚊が媒介するマラリアのせいで毎年40万人以上の乳児が死亡しているそうです。日本のある企業がアフリカに沢山の蚊帳を贈った記事も目にしました。命を守るために必要な蚊帳でもあるということを知り、スイカ用に頂いた蚊帳が教えてくれました。

(子どもの頃蚊帳で寝ていた 園長 森 都)

日	曜	予定及びバス園外	ほけっとサン(月・水・金)
4	金	布団持ち帰り	ミュージックケア
7	月		わらべうたベビーマッサージ
8	火	にじ組:お茶教室	
9	水	にじ組:よさこい	水遊び
10	木	布団持ち帰り	
21	月		わらべうたベビーマッサージ
22	火	にじ・つき組:川遊び	
23	水	にじ組:よさこい ほし・らいおん&くま組2歳児:ちゃっぷる	誕生会(身体計測)
24	木	にじ組:クーパー・コーチング	
25	金	布団・園庭ズック持ち帰り	リトミック遊び
26	土	大嶺中祭り 16時~(にじ組のみ参加)	
28	月		わらべうたベビーマッサージ
29	火	ほし組:クラス懇談会&保育参加	
30	水		水遊び
31	木	にじ・つき組:ちゃっぷる	

9月・10月の予定

9月1日(金)

全園児:引き渡し訓練

9月16日(土)

秋の整備作業(午前7:30~9:00)

(にじ・つき・らいおん・ひよこ組保護者の方と春の整備作業に参加できなかった保護者の方)

9月29日(金)

にじ・つき組:運動会

場所:松陽地区体育館

10月6日(金)

ほし・2歳児組:運動会

場所:松陽地区体育館

※0・1歳児組の運動会は行いません。

10月19日(木)

にじ・つき組遠足

*子どもたちのみで出かけます。お弁当の準備をお願いします。

みんなびしょぬれ!?

にじ組親子でお楽しみ会☆

7月8日(土)に『にじ組親子でお楽しみ会』がありました。コロナ前は保護者会が中心となり行っていた夏祭りですが、近年は右記の夏祭りのように子どもたち主催で行っています。また、保護者会(にじ組保護者全員)からお楽しみ会の一部を企画したいとの思いから数々の楽しいお店を考えて下さいました。

お楽しみ会後半の時間は保護者会主催の紙飛行機飛ばし、うちわ制作、的当て、干本引きなど様々な体験&ゲームコーナーを親子で回ったり、全員でよさこいを踊ったりしました。そして最後には園庭に出て水鉄砲での『鬼退治』。子どもたちは鬼に扮した保護者に目掛けて水鉄砲を噴射!! 鬼も負けじと水鉄砲で応戦!! 「当ててやる!!」とみんなびしょぬれになって楽しんでいました。素敵な企画をありがとうございました。



「いらっしゃいませ~」ちよっぴり照れながらも接客しています

一緒にうちわ作り☆



飛行機飛ばし、それ~!

鬼に扮したみなさん。お疲れさまでした!

松陽夏祭り大盛況

7月5・6・7日に松陽夏祭りが開催されました。5日の初日はつき組さんが中心となり輪踊りを行いました。つき組さんなりに、どうやったらみんなが楽しんでくれるか一生懸命考え、プレゼントを用意してくれたり会場を飾りつけしてくれたりしました。当日はちょっぴり緊張しながらも司会など進行を頑張ってくれましたよ。



やぐらの制作中



司会ドキドキ☆頑張ったね



みんなで輪踊り踊ったよ

6・7日にはにじ組さんが準備してくれたゲームコーナーや屋台をみんなで回りました。にじ組さんは夏祭りの企画を考える中で年下児のことを思い「赤ちゃんは小さいから簡単なルールにしよう」「景品はこんなのがいいかな」等、様々なアイデアを出し合い、工夫を重ね準備をしてくれました。お祭り当日はお店屋さんとなり張り切って接客をしていましたよ。参加する子どもたちもお祭りの雰囲気を楽しんでいました。

ちょっこっとエピソード

悔しいね。その気持ち僕もわかるよ

遊戯場での遊びが終わり、みんながお部屋へ戻り、廊下から遊戯場の方を見て立ち止まっているAちゃん。その視線の先には先生になだめられながらも涙を流し、うすくまっているBちゃんがありました。遊戯場を見つめるAちゃんの後ろ姿からは友だちを心配するような、自分もすんなりお部屋には戻りたくないような様々な感情が入り混じっているかのようでした。

するとAちゃんは遊戯場に歩みを進め、泣いているBちゃんの側へ。Bちゃんの泣いている理由はリレーに負けたことでした。同じチームだったAちゃんはBちゃんの涙の理由が痛いほどよくわかるはず。そしてAちゃんは「今度もっと速く走ろう」「こうやったら速く走れるよ」とアドバイスを送っていました。

園生活では友だちとの関わりを通して、喜んだり楽しんだりする肯定的な気持ちを一緒に感じる経験と共に、悲しんだり悔しがったりといった否定的な気持ちも一緒に経験していきます。そんな多様な気持ちを自分自身が他者の気持ちに共感すること、保育者や友だちに共感してもらった経験を積み重ねる中で、共感性や思いやりの気持ちが育まれていくのではないのでしょうか。



Aちゃんはお友だちをじっと見つめています



どうやったら泣き止んでくれるかな...でも気持ちわかるよ